

兵庫県における スクミリンゴガイの 防除対策

兵庫県立農林水産技術総合センター
農業技術センター 病害虫部
(病害虫防除所)

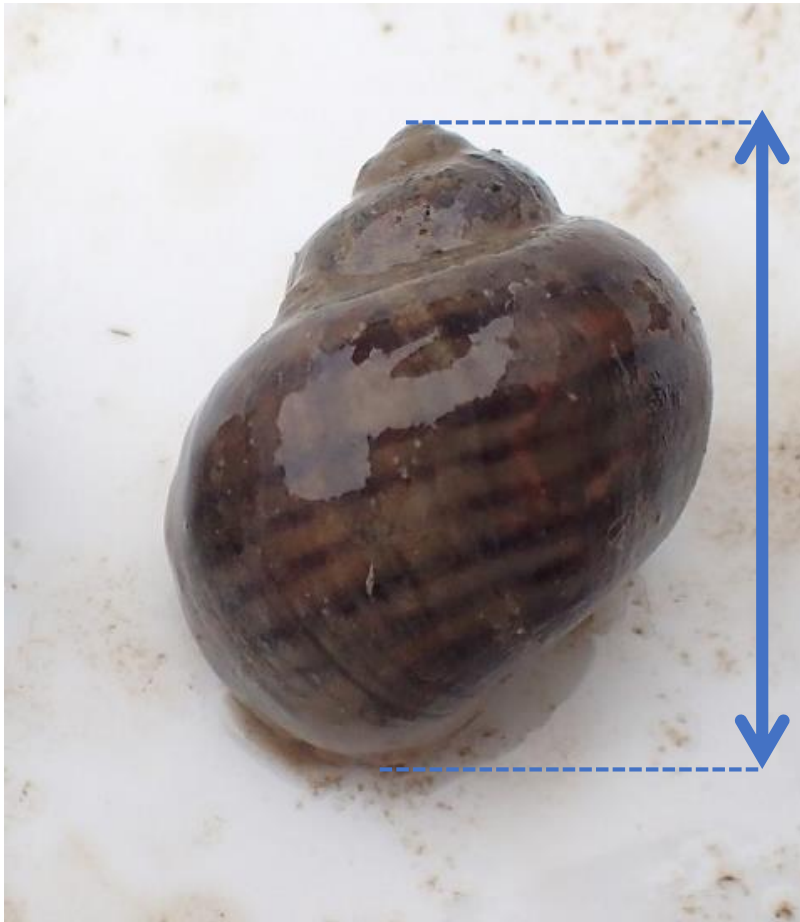
スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)

大きさ

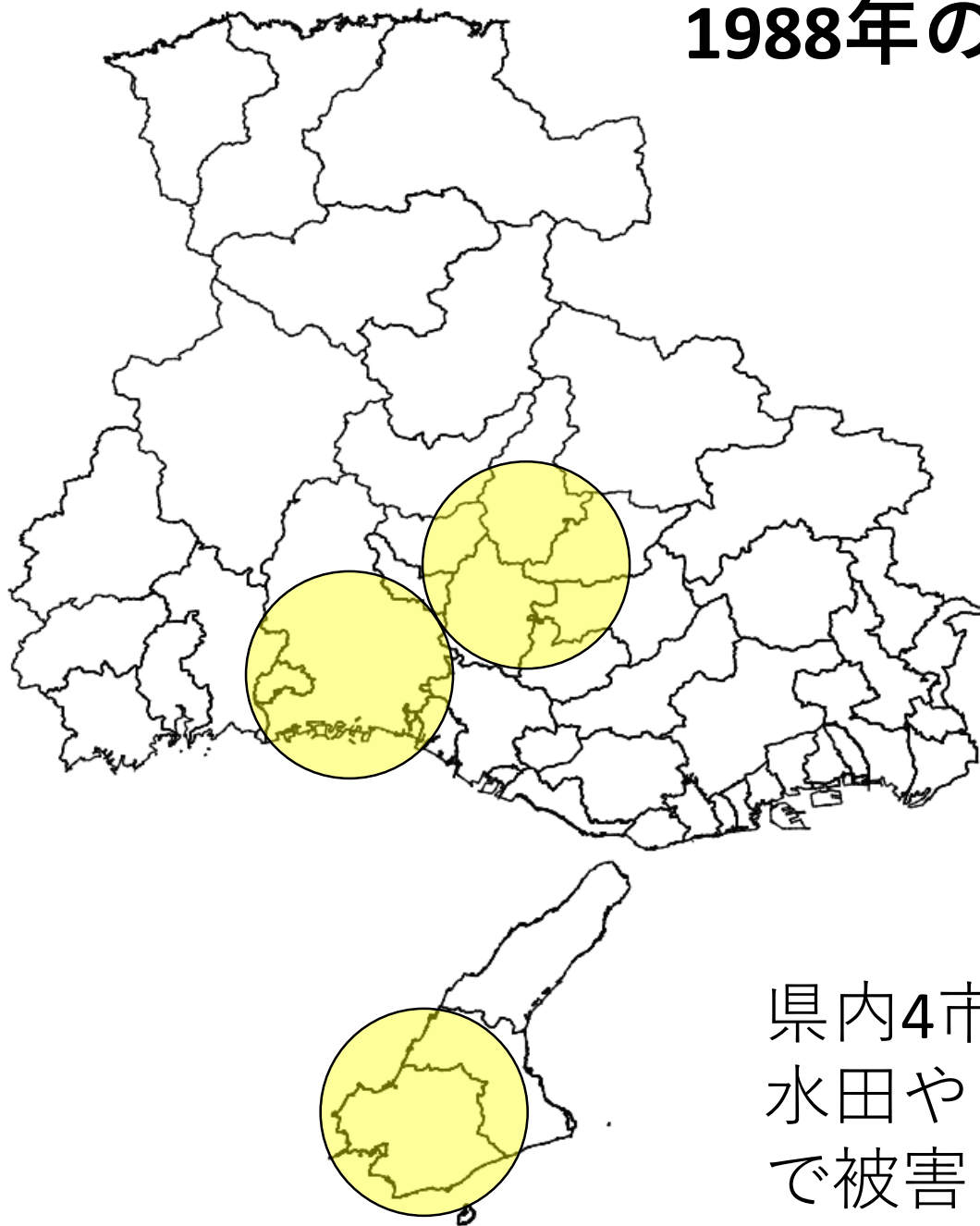
成貝は 2 ～ 7 cm

卵は 1個2mm

卵塊は 数十～数百個の卵



1988年の発生状況

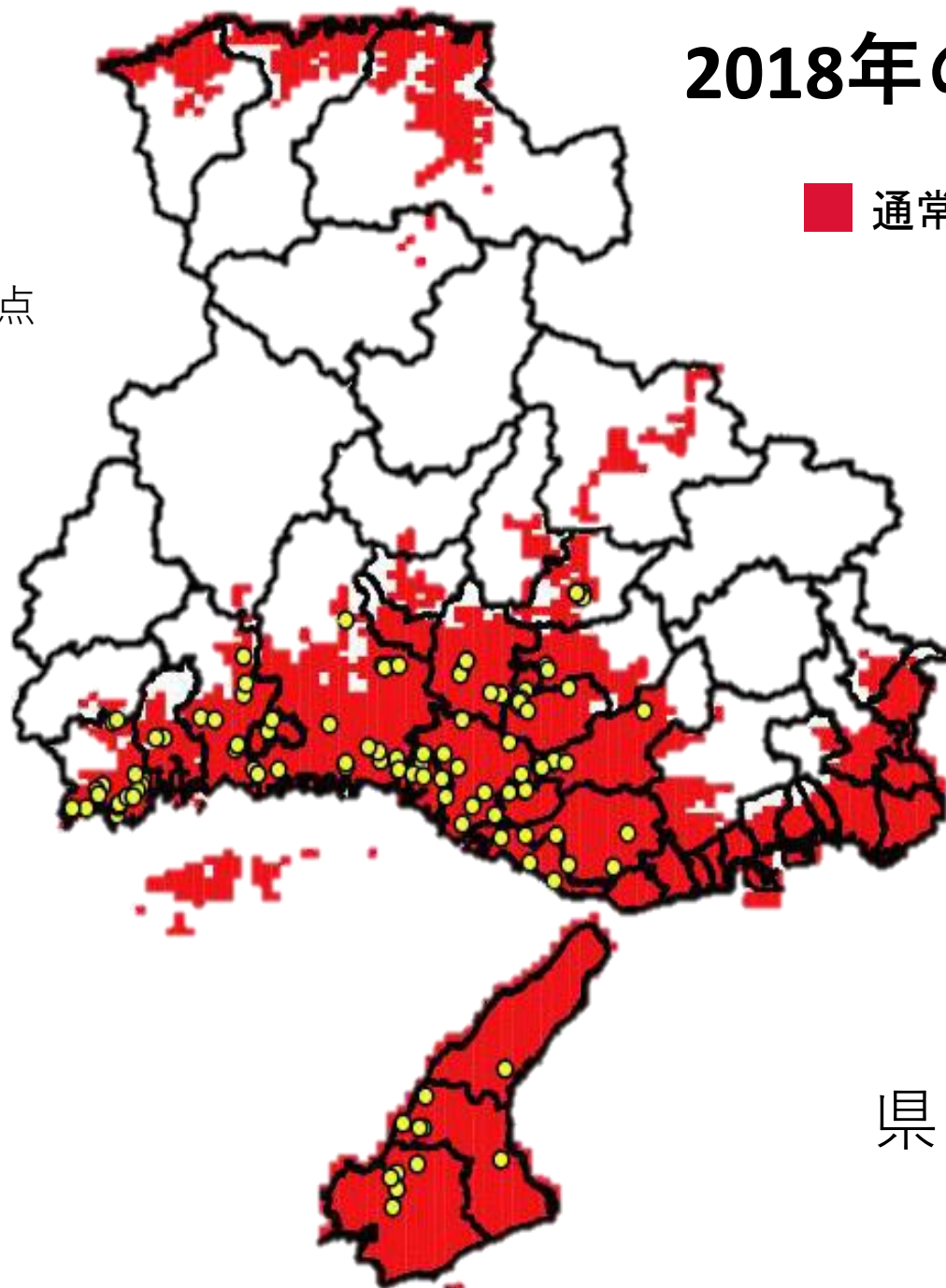


県内4市
水田やレンコン田
で被害

2018年の発生状況

■ 通常年の越冬可能地域

● 発生確認地点

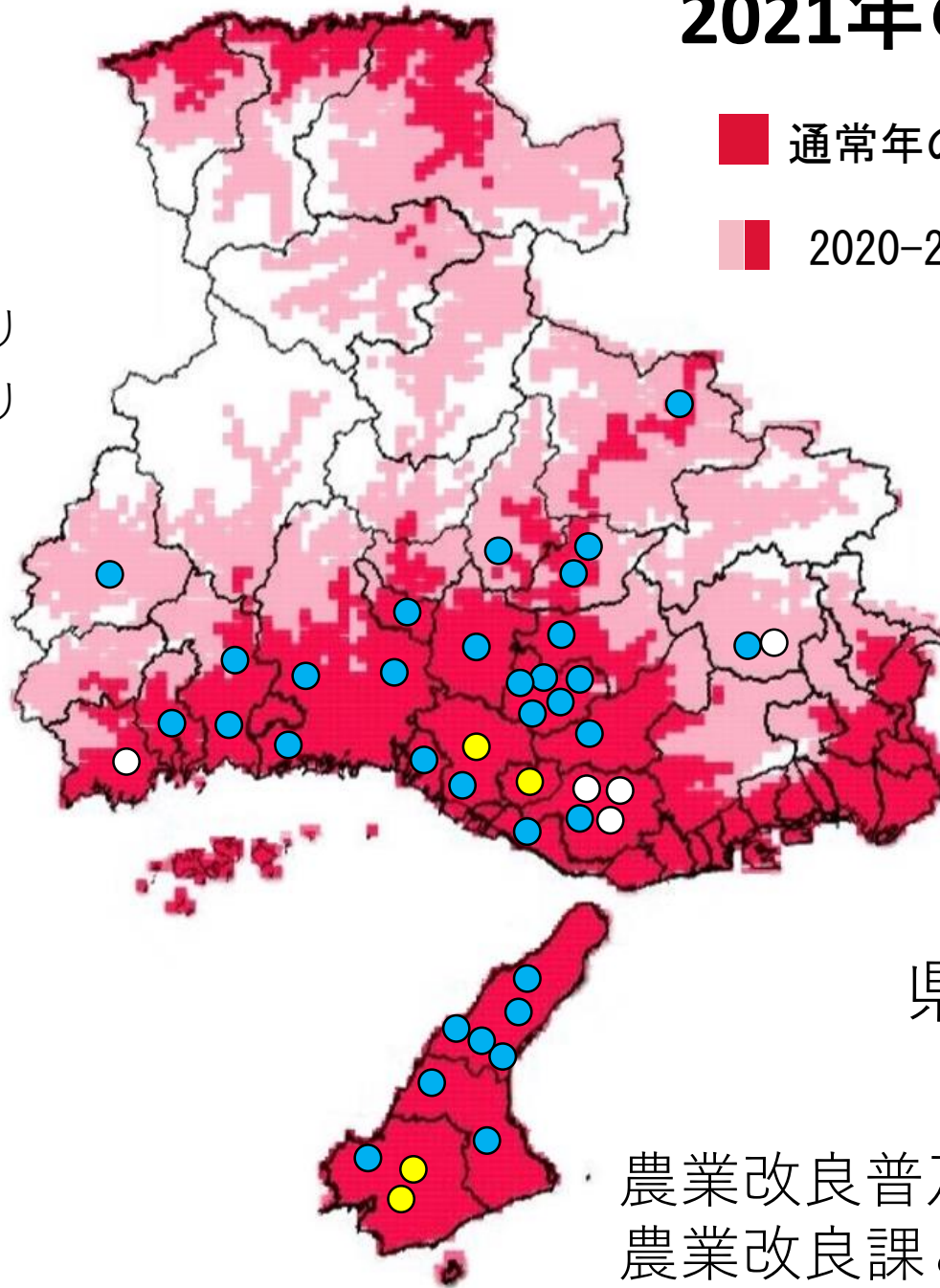


県内20市町

2021年の発生状況

- 被害無
- 30%未満被害あり
- 30%以上被害あり

- 通常年の越冬可能地域
- 2020-21年の越冬可能地域



農業改良普及センター調査
農業改良課とりまとめ

スクミリンゴガイ防除の考え方

実施可能な防除技術を組合せて実施する

既存の防除技術の分類

- ①水田への侵入防止（**入れない**対策）
- ②水田内の生息数低減（殺貝により **貝密度を減らす**対策）
- ③食害防止（**稲を食べさせない**対策）

①～③から、一つ以上を組み合わせる

ア 収穫後（秋冬）の対策

- ・水路の泥上げ（**①侵入防止**）
- ・秋期の石灰窒素散布（**②生息数低減**）
- ・冬期の耕耘（**②生息数低減**）
- ・レーザーレベラーによる圃場の均平化
（**③食害防止**）

スクミリンゴガイ防除の考え方

イ 移植前後（春夏）の対策

- ・ 入水口への網設置（①侵入防止）
- ・ 移植前の石灰窒素散布（②生息数低減）
- ・ 移植時（育苗箱）、移植後の薬剤処理
メタアルデヒド粒剤（スクミノン）等
（②生息数低減および③食害防止）
カルタップ粒剤（パダン粒剤⁴）等
（③食害防止）
- ・ 浅水管理（③食害防止）

防除技術の内容については、要旨に記載の 資料や動画を参考にしてください

- ・スクミリンゴガイ防除対策マニュアル（移植水稻）農林水産省消費・安全局植物防疫課（令和3年3月）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/index.html>

- ・農作物病害虫・雑草防除指導指針の参考資料「3-3 スクミリンゴガイの生態と防除対策」兵庫県農政環境部農林水産局農業改良課

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/hyogo>

農林水産技術総合センター YouTube動画チャンネル



「スクリンゴガイ（ジャンボタニシ）の生態」

https://www.youtube.com/watch?v=oV6kC7_UaS0



「スクリンゴガイの生態と防除～冬季の耕うん～」

<https://youtu.be/aeppoxufEcQ>



技術の組合せによる防除効果

病害虫の効率的防除体制の再編委託事業 (スクミリンゴガイの総合防除体系の確立)

【国庫】

昨年度、スクミリンゴガイの被害が
大きな圃場を中心に、県内4地域、
15圃場で、**技術の組合せ**による防除
効果を実証する

技術の組合せによる防除効果

表 兵庫県における防除技術の組合せによる被害抑制効果(実証試験)

地域	圃場 番号	侵入防止対策	水田の生息数低減対策			食害防止対策		作付初期の スクミリングガイ 発生程度	被害程度 (欠株率)	防除 効果	昨年度の 被害程度 (欠株率)
		取水口 網設置	石灰窒素	冬期耕耘	スクミノン	浅水管理	パダン				
加西市 A	1	○	○ 春		○	△		中	1%	◎	3%
	2	○	○ 春		○	△		中	1%未満	◎	3%
	3	○			○	○ レベラー		中	1%未満	◎	2%
	4	○		○		○ レベラー		中	3%	○	10%
	5	○		○	○	△		中	5%	△	10%
	6	○				○ レベラー		中	4%	○	10%
	7	○			○	△		多	10%	△	10%
	8	○				△	○	多	15%	△	10%

技術の組合せによる防除効果

表 兵庫県における防除技術の組合せによる被害抑制効果(実証試験)

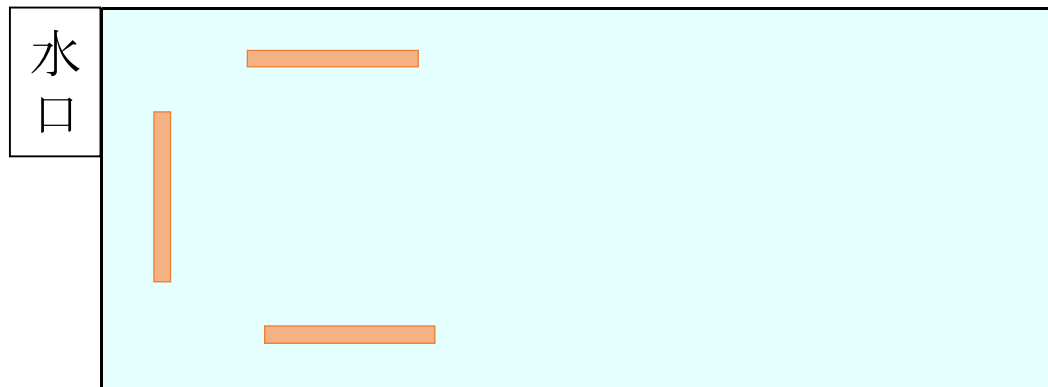
地域	圃場 番号	侵入防止対策	水田の生息数低減対策			食害防止対策		作付初期の スクミリンゴガイ 発生程度	被害程度 (欠株率)	防除 効果	昨年度の 被害程度 (欠株率)
		取水口 網設置	石灰窒素	冬期耕耘	スクミノン	浅水管理	パダン				
加西市 B	9	○	○ 春	△ 額縁のみ	○	△		中	1%未満	◎	20%
	10	○		○	○	○ レベラー		中	1%未満	◎	10%
	11	○		△ 額縁のみ		△	○	中	1%未満	◎	5%
	12	○		△ 額縁のみ		△	○	中	1%未満	◎	5%
加西市 C	13	○	○ 秋		○	△		中	1%未満	◎	40%
西脇市	14	○		○	○ 隅のみ+ 全面	△		多	3%	◎	15%
	15	○		○	○	△		中	2%	◎	15%

防除効果の考え方

	貝の発生程度		防除効果
	中	多	
被害 程度	3%未満	5%未満	◎：高い
	5%未満	10%未満	○：効果あり
	15%未満	20%未満	△：あるが程度はやや低い
	15%以上	20%以上	×：低い

調査方法

貝の発生程度：水口付近3辺（ $0.3 \times 10\text{m}$ ）の貝数（2cm以上のみ）



散布前
移植前
移植4週間後



発生程度（1 m²あたり貝数（頭））

無：0頭

少：1.5頭 未満

中：1.5頭 以上 10頭 未満

多：10頭 以上 100頭 未満

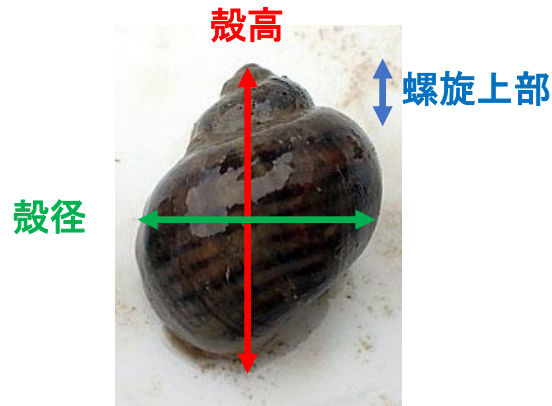
甚：100頭 以上

在来のタニシも結構いる

移植前の 1 m²あたり貝数

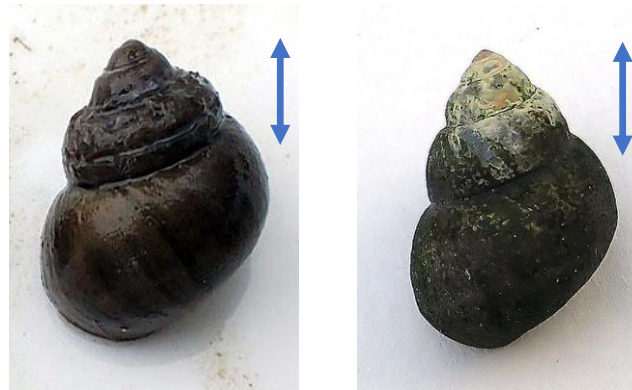
	スクミリンゴガイ		在来タニシ	調査日
	2 c m 以上	2 c m 未満		
加西A	8.4	15.8	3.7	6月7日
加西B	2.7	1.3	2.4	6月18日

丸い



スクミリンゴガイ

とがっている



在来タニシ

在来タニシ
は4種類
マルタニシ
ヒメタニシ
オオタニシ
ナガタニシ